

Rainger FX



Drone Rainger

取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Rainger FX Drone Rainger

Drone Rainger Digital Delay を購入いただきありがとうございます。貴方の音楽をインスパイアするパワフルなペダルを、どうぞお楽しみ下さい。

CONTROLS

デジタルディレイセクション (ペダル中央部の 4 つのノブ)

Level: デレイシグナルの音量を調整します。

Rate: デレイタイムを設定します。最大でおよそ 1000ms になります。

Repeat: デレイのフィードバック量を調整します。

Volume: ペダル全体の音量を調整します。

Input ノブ

Guitar In: ペダルへのギターシグナルの入力量を調整します。

Drone In: ペダルへのドローンの入力量を調整します。

Overload LED: 入力シグナルが高くクリッピングしてしまう際に点灯します。プレイ中にたまに点灯するくらいにインプットを調整するとベストなサウンドになります。常に点灯するような設定にしても問題は有りません。

・ドローンセクション (ペダル半分上部)

Pitch1: ドローンのピッチを調整します。ノブを回してもピッチが変化しない場合、Mix ノブを右へ回すか、Mix/Pitch2 フットスイッチを押してみてください。

Pitch2: ドローンの2つ目のピッチを調整します。Pitch1 から異なるキーに設定したり、オクターブやハーモニーになるようにしたり、Pitch1 から僅かにずらすことで特徴的な"揺らぎ"を持つトーンへの設定も出来ます。

Mix: Pitch1 と2のバランスを調整します。

・プッシュボタン

Interfere 1-2: ドローンのピッチに対して作用するモーメンタリーのフットスイッチ"INTERFARE"の動作を切り替えます。設定によりドローン全体のピッチ下降→上昇、または Pitch2 のみをピッチ上昇→下降させることが出来ます。

Dry Guitar: ギターシグナルへのディレイ・エフェクトをカットします。

・フットスイッチ

On/Off: Drone Rainger のオンオフを切り替えます。(ハードウェア・トゥルーバイパス)

Mix/ Pitch: Mix ノブの状態を無視し、ドローンを Pitch2 のみへ切り替えます。Mix ノブを右へ回し切っで使用すると、異なる2つのドローンをフットスイッチで切り替えるように使用できます。

Interfare: ドローンのピッチを変化させるモーメンタリーのフットスイッチです。Interfere1-2 ボタンの設定により、変化が異なります。

NOTE

- ・スタンダードな 9V センターマイナスの電源アダプターで動作します。電池は使用できません。
- ・ドローンにはコーラスエフェクトが常に掛かっており、ピッチが僅かにモジュレーションしています。そのため Drone Rainger のドローン音を使用してギターをチューニングすることはオススメしません。
- ・ディレイタイムを伸ばすと、リピートにノイズが混ざりラウドになっていきます。ディレイ音のテクスチャを楽しんでみて下さい。
- ・Drone Rainger には Igor コントローラーは対応/付属していません。全てのコントロールはペダル上部のスイッチで行われます。
- ・ディレイとコーラスには PT2399 チップが使用されています。
- ・ドローンのコーラスエフェクトのスピードは固定です。ギターシグナルへコーラスを適用は出来ず、ドローン音にのみ適用されます。
- ・ドローン音のコーラスエフェクトのオンオフは出来ず、常に有効です。

